

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター えぶりキッズ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子で楽しめる遊びを中心とした集団療育を行っています。	家族のニーズやこどもの発達に応じた活動を行い、今年度は父親の育児参加の促進を目的として父親保育のイベントを実施し、家族全体を支援できるよう工夫しています。	父親保育のイベントや家族で参加できる行事を充実させることで、家族全体の支援につながるよう取り組んでいきます。
2	療育活動や昼食の時間に、理学療法士による姿勢援助や呼吸ケア等の支援、作業療法士による摂食指導も受けられます。	姿勢や摂食など、日常生活における悩みについて気軽に相談できる環境を整え、不安の解消や適切な支援につなげています。	相談内容や支援の経過を継続的に見守り、個々の状況に応じたフォローを行うことで、よりきめ細やかな支援に繋がります。
3	親子入園や短期入所を含めた総合的支援を多職種と連携し行っている	カンファレンスや療育相談を通して家族のニーズを把握し、必要に応じて適切な家族支援が行えるよう、多職種と連携しています。	カンファレンスの記録や内容を整理・統一し、関係職種間で共通理解を持ち統一した支援ができるように取り組みます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会を設けていない	現在は感染症対策もあり、地域事業所との交流は行っていませんが、保護者の意向も確認しながら、検討していきます。	機会を設ける際は、保護者へ丁寧な説明を行い、不安や要望を把握したうえで計画に反映し、安心して参加できる環境づくりをしていきます。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定されているが、保護者に周知・説明が徹底されていない状況	各種マニュアルについては年度初めにメールで周知し、避難訓練も定期的に実施のうえおたより等で報告していますが、十分に周知が行き届いていない状況です。	次年度からは、各種マニュアルを個人ファイルに保管し、いつでも確認しやすい環境を整えていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター えぶりキッズ

公表日 令和8年4月30日

利用児童数

40

令和8年 3月 27日

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2			天候が良くても室内だけで過ごすことが多いため、外遊びに行く機会を増やして欲しい	今年度は建て替え工事の影響により、安全に散歩できる場所の確保が難しく、水遊び以外の外遊びが十分に行えない状況でした。今後も工事が継続することから、外遊びの場所の確保等について検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				その日の利用者の状況に応じて配置を検討し、安全に過ごせるよう配慮しています。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				特性に応じた専門性のある支援を今後も継続できるよう、研修会や勉強会に参加するなど、知識を深めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	16	1				面談の機会を設け、こどもと保護者のニーズを踏まえて個別支援計画を作成しています。
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17					
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1				月間でプログラムを設定して実施していますが、利用者の状況等を踏まえ、柔軟に対応しています。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	9	5	あったら嬉しいですが、機会はなかったが、リハビリセンター内という立地的にも、そこを求めている人も確認しながら、今後の実施についてはあまりないのではと思う	現在は感染症対策のため、地域事業所との交流は行っていませんが、保護者の意向も確認しながら、今後の実施について検討していきます。	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2			2	今年度は、年に2回ペアレントトレーニングや心理士を交えたおしゃべり会を実施しました。今後も、ご家族等が参加できる研修会や情報提供を行っていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16		1			親子通園であることを生かし、こどもの健康状態や発達状況、ご家族の悩みなどについて共通理解を図りながら支援にあたっています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	1	1		面談の機会を設けるとともに、早急な対応が必要な場合には迅速に対処しています。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12		2	3	残念ながら参加できなかったですが、土日祝日の父親の会の開催は大変嬉しいです。また機会があれば参加したいです	今年度、初めて開催した「父親の会」も好評でしたので、来年度も開催を予定しています。あわせて、きょうだい向けのイベントなどもご家族の意向をふまえて検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1		2		相談の申し入れがあった際や、必要と判断した場合には迅速かつ適切に対応していけるよう努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1			毎月おたよりを発行し、活動の様子や活動予定をお知らせしているほか、メールを活用して空き状況等の情報提供も行っています。また、自己評価の結果については、ホームページに公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	1		3		各種マニュアルについては、年度初めにメールで周知するとともに避難訓練も定期的実施し、おたより等でその内容を報告しています。一方で、十分に周知が行き届いていない面もあることから、次年度より各種マニュアルを個人ファイルに保管し、いつでも確認しやすい環境を整えていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			6		定期的に避難訓練を行い、避難経路の確認や防災グッズの点検を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		3	事故などまだ起きたことがない為、どちらともいえないと答えました	親子通園であることから、けが等が発生した場合には、看護師とご家族が連携して対応し、必要に応じて医師の診察を受けられる体制を整えています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1			・大満足で120%安心して参加できます。個人的な感想ですが、まるで実家に帰ったような気持ちと空間です。 ・親子で楽しく通う事ができています。いつもありがとうございます。 ・保育士さんたちは障害がある子供との関わりを熟知しているし、プログラムの内容も本人が興味を持てるもので、充実感があります。	温かいご意見をいただき、ありがとうございます。今後の支援への大きな励みとなります。子どもたちの成長や変化を保護者の皆さまと共有し、これまでの積み重ねを大切にしながら、子どもたちとともに成長していきたいと考えています。今後も、安全で楽しい活動を提供できるよう、専門性の向上に努めながら支援に取り組んでまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	えぶりキッズ					公表日	令和8年 4月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		備品や道具を置く場所を見直し、より安全に活動ができるよう配慮していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	4	各職種が専門性をそれぞれ発揮し対応しています。	呼吸器装着を必要とする利用者や状態が不安定になりやすい利用者が増えており、さらなる職員の充実が必要と考えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	利用者の特性に合わせて、環境の設定や見直しを行っています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	活動室にはお部屋を仕切る扉があり、個別対応が必要な場合は、使用できる状態になっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	目標達成に向けて、プログラムの見直しや効果を検証して日々の支援に取り入れています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	同職種での話し合いや多職種で意見を出し合う場を設け、日々の支援にその意見を取り入れるようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	病院機能評価を受け、業務改善に繋げています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	センター全体で研修の機会は確保されています。	児発センターに求められる専門性の高い研修会の企画運営について検討していきます。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		支援プログラムは作成していますが、現在は公表していないため、今後、公表に向けて対応していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	8	0				
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0				
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3	医療情報や相談支援のアセスメント、行動観察、反応などから多職種による見立てを行っています。			
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0				

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	1週間分の利用者を把握し、1週間まとめて支援内容、役割分担について確認し連携を図っています。	支援前に他業務があり、事前打ち合わせが難しい日もありますが、前日に話し合いを行うなど調整しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後には、こども、ご家族の様子を振り返り、気が付いた事、活動内容について振り返り行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	ご家族としっかりコミュニケーションをはかり、その中から必要な支援を考え見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	就学移行先に支援内容などの報告書を作成し情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	0	必要な研修には、内外部含めて研修に参加しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	2		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0			
36	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0			

保護者への説明等	37	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	親子交流会の行事などで保護者同士やきょうだい児も交流する機会を設けています。 親子通園であるため、日頃からご家族同士で繋がりが持てるよう意識しながら対応しています。また、クリスマス会などのイベント時を中心にきょうだい同士の交流が持てる機会も作っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	3		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0		感染症対策の観点から、現状では事業所の行事に地域の方を招待することは難しい状況ですが、ご希望に応じてセンターの見学対応等は行っています。今後は、開かれた事業運営ができるよう、検討を進めていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	定期的に避難訓練を行い、避難経路の確認や防災グッズの点検を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	インシデント報告書にて対策内容を共有し再発防止に繋げています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	8	0			